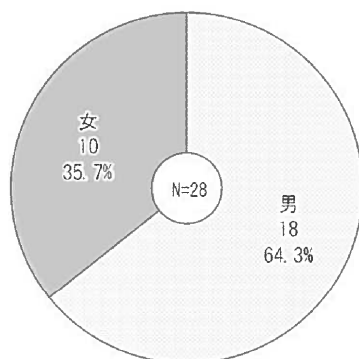


(4) 六次産業化アンケート調査の結果

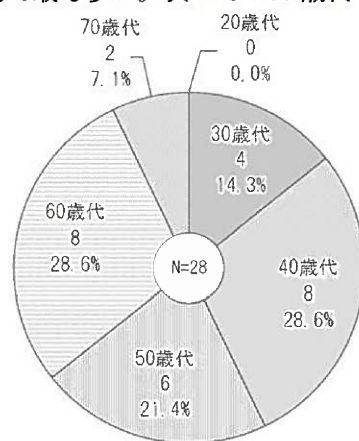
問1 あなたの性別はどちらですか。

「男性」が64.3%、「女性」が35.7%となっている。



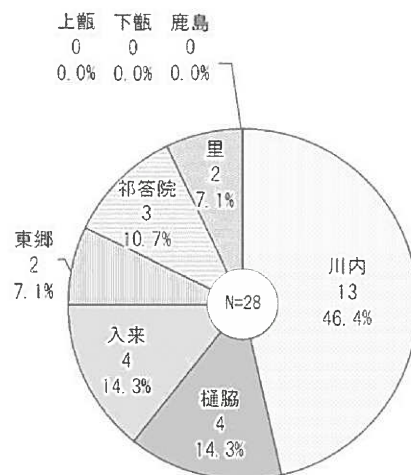
問2 あなたの年齢は次のうちどれですか。

「40歳代」「60歳代」が28.6%で最も多い。次いで「50歳代(21.4%)」となっている。



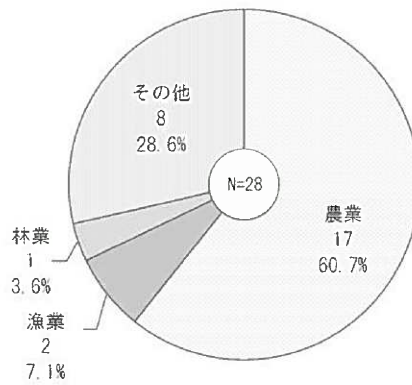
問3 あなたのお住まいの地域は次のうちどれですか。

「川内」が46.4%で最も多い。



問4 あなた職業は次のうちどれですか。

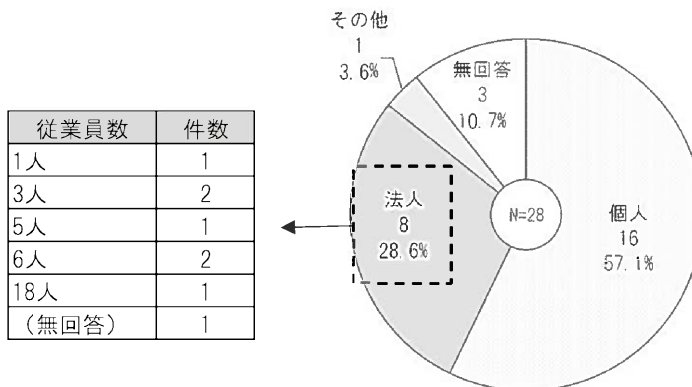
「農業」が60.7%で最も多い。



その他の意見
会社員
自由業
事務
会社経営
福祉サービス

問5 あなたの農林漁業を営んでいる形態は次のうちどれですか。また、「2. 法人」を選択した方は、カッコの中に従業員数をお書きください。

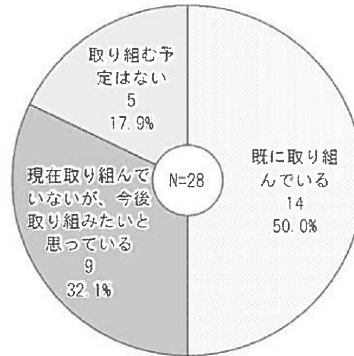
「個人」が57.1%で最も多い。



その他の意見
支援者

問6 あなた（個人、法人）は現在、六次産業化に取り組んでいますか。

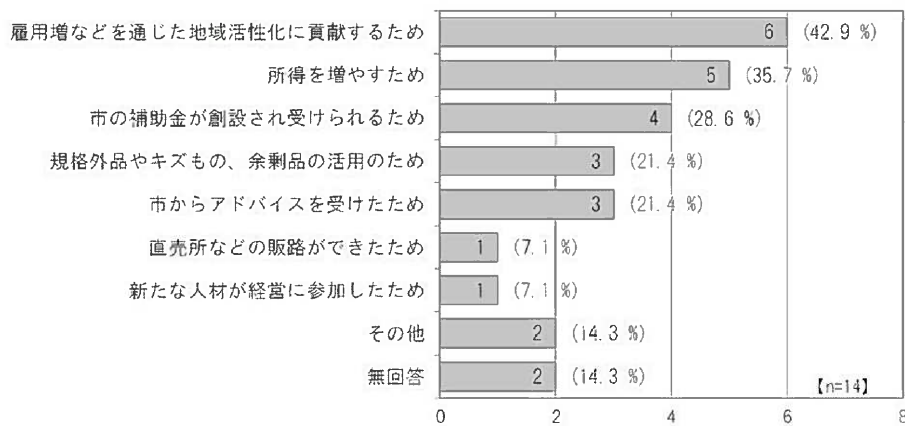
「既に取り組んでいる」が50.0%で最も多い。次いで「現在取り組んでいないが、今後取り組みたいと思っている（32.1%）」となっている。



※問6で「1. 既に取り組んでいる」を選択された方にお聞きします。

問7-1 六次産業化に取り組もうと思ったきっかけは何ですか。（複数回答）

「雇用増などを通じた地域活性化に貢献するため」が42.9%で最も多い。次いで「所得を増やすため（35.7%）」「市の補助金が創設され受けられるため（28.6%）」となっている。

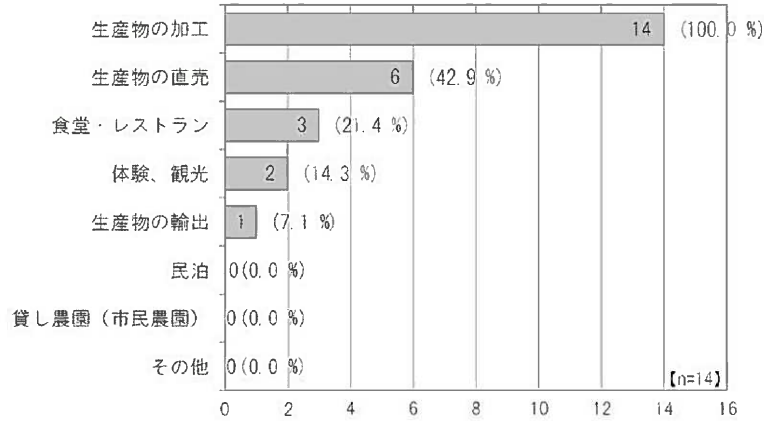


その他の意見

地元の遊休地を有効活用して特産品を作り販売し、地域活性化を図る

問 7-2 現在取り組んでいるものは次のうちどれですか。また、その取組の概要を具体的にお書きください。(複数回答)

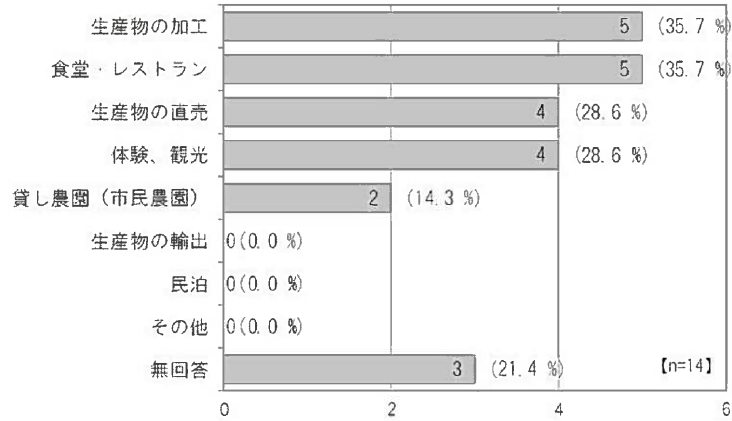
「生産物の加工」が100.0%で最も多い。次いで「生産物の直売(42.9%)」となっている。



取組の概要
漬物・佃煮・餅・ふくれ菓子・乾燥野菜・米・野菜(直売所及びイベントでのテスト販売)
氷温卵の製造・販売支援、グアバ果肉等の加工品づくり・販促開発、道の駅・直売所等の支援
季節の野菜の直売所での販売
養豚業→加工販売
塩玉ねぎ、梅肉エキス(天神梅肉)のインターネット通販。米糍(しきみ)を育て使わない葉で泉香を作って売っている

問 7-3 問 7-2 の取組以外に今後実施したいと思っている取組はありますか。また、その取組の概要をお書きください。(複数回答)

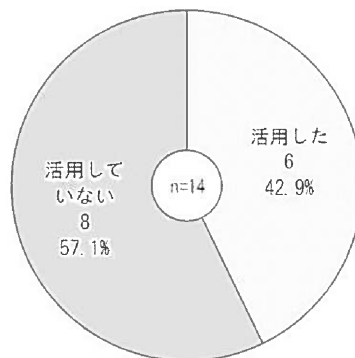
「生産物の加工」「食堂・レストラン」が 35.7%で最も多い。



取組の概要
生産物の直売所を開き、その後、農業体験・加工体験ができるようにしたい
氷温卵の製造・販売支援、グアバ果肉等の加工品づくり・販促開発、道の駅・直売所等の支援
レストラン
・体験・観光…田植えと稲刈り体験で収穫した米をお土産で持ち帰り(有料) ・貸し農園…主だった作業を体験していただき、それ以外はこちらで管理手入れする(有料)
直売施設の整備、地域貢献、活性化
金柑の加工

問 7-4 六次産業化に取り組む際、本市の六次産業化支援事業補助金を活用されましたか。

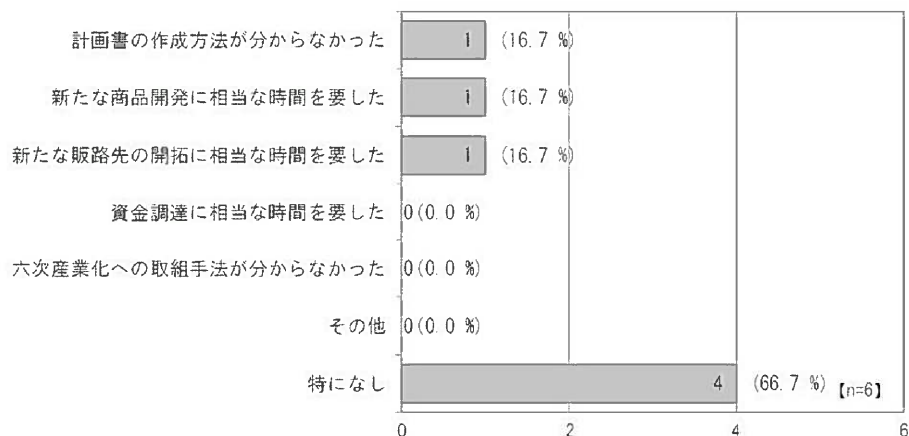
「活用していない」が 57.1%、「活用した」が 42.9%となっている。



※問 7-4 で「1. 活用した」と回答した方にお聞きします。

問 7-5 六次産業化実施計画の策定過程で問題になったことはありますか。(複数回答)

「特になし」が 66.7%で最も多い。



※問 7-5 で「6. 特になし」以外の項目を選択した方にお聞きします。

問 7-6 その問題をどのようにして解決しましたか。(複数回答)

「市主催の六次産業化の講習会に参加した」が 100.0%で最も多い。



問 7-7 本市の六次産業化支援事業補助金を活用して率直に感じたこと、ご意見やご要望をご自由にお書きください。

意見・要望

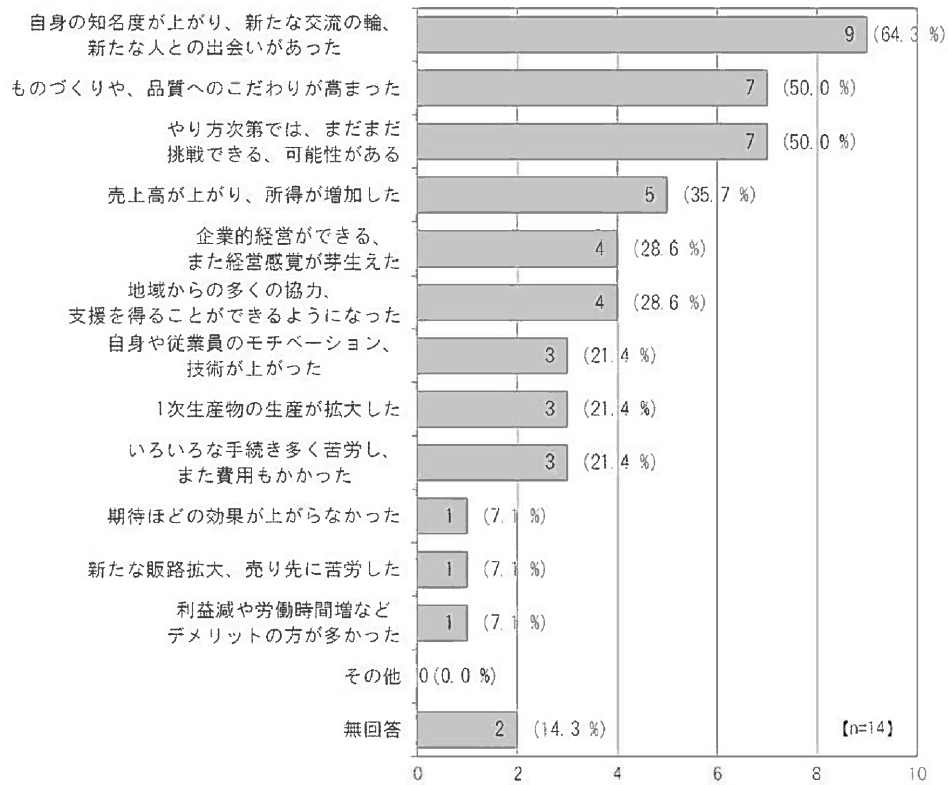
今のままで良いと思います。あまり計画書が簡単になっても良くないのでは。

補助金を活用させていただき、飲食店を開業することができ、今まで市場頼みの売上げだったが、自ら取った魚介に付加価値を付け、売上げが上がりとても良かった。

担当者を含め、真摯に対応してくださり、やりやすかった。

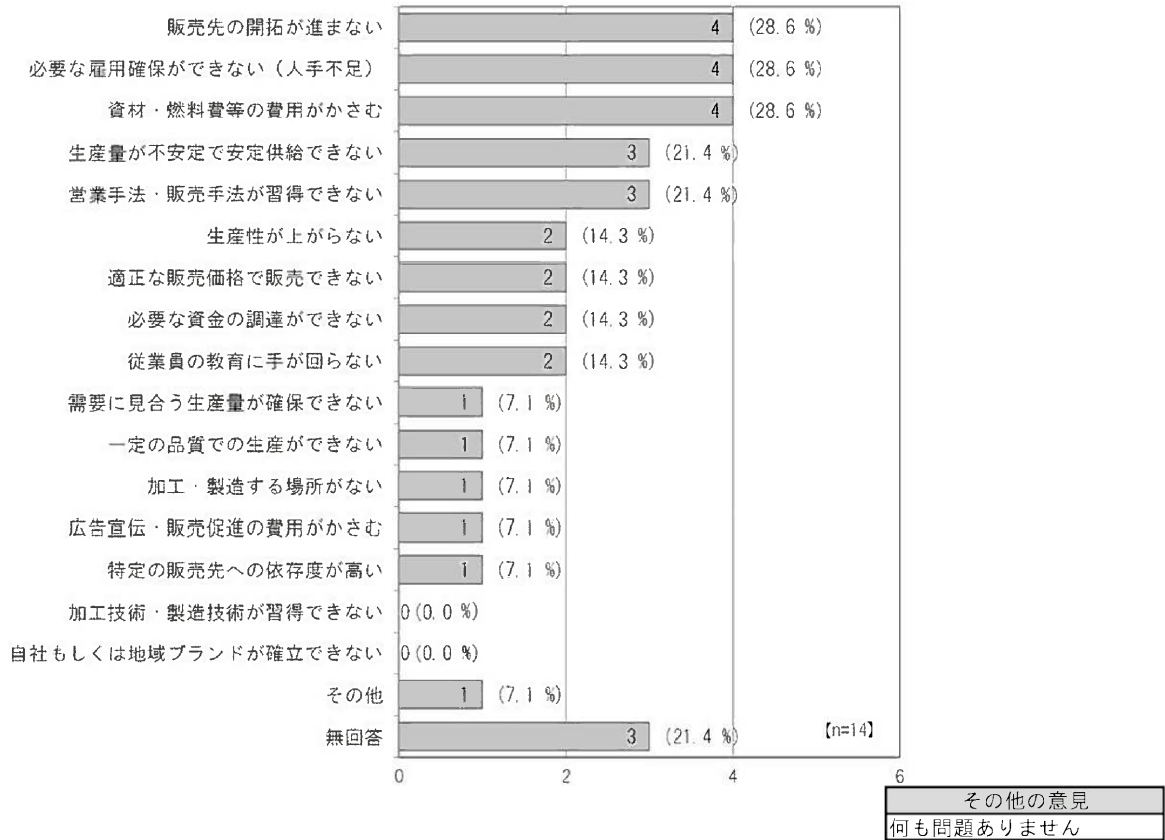
問 7-8 六次産業化に取り組んでみて効果があったこと、または率直な感想は何ですか。(複数回答)

「自身の知名度が上がり、新たな交流の輪、新たな人との出会いがあった」が 64.3%で最も多い。次いで「ものづくりや、品質へのこだわりが高まった (50.0%)」「やり方次第では、まだまだ挑戦できる、可能性がある (50.0%)」となっている。



問 7-9 取組を進める上で、現在、問題となっていることは何ですか。(複数回答)

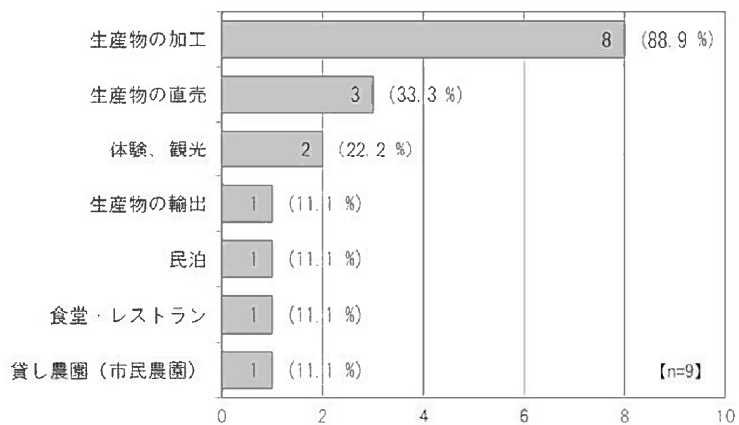
「販売先の開拓が進まない」「必要な雇用確保ができない(人手不足)」「資材・燃料費等の費用がかさむ」が28.6%で最も多い。



※問6で「2. 現在取り組んでいないが、今後取り組みたいと思っている」を選択された方にお聞きします。

問8-1 今後取り組みたいと思っているものは次のうちどれですか。また、その取組の概要をお書きください。(複数回答)

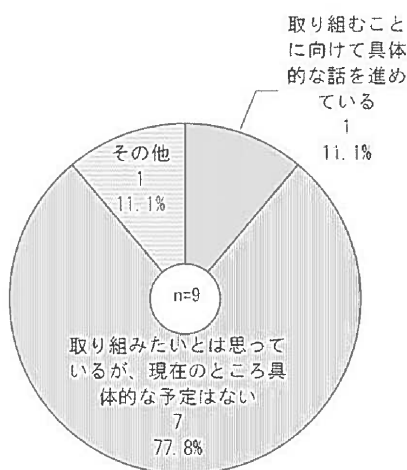
「生産物の加工」が88.9%で最も多い。



取り組みたい概要
「生産物の加工」「民泊」を通し、「民泊」へ。具体化が未だ
・ 棚田のオーナー制×体験
・ 自家産焼酎の販売
菓子類(野菜、きんかん加工品)
かぼちゃ
福祉サービスの体験学習として

問8-2 問8-1で回答した取組の検討状況はどの段階ですか。

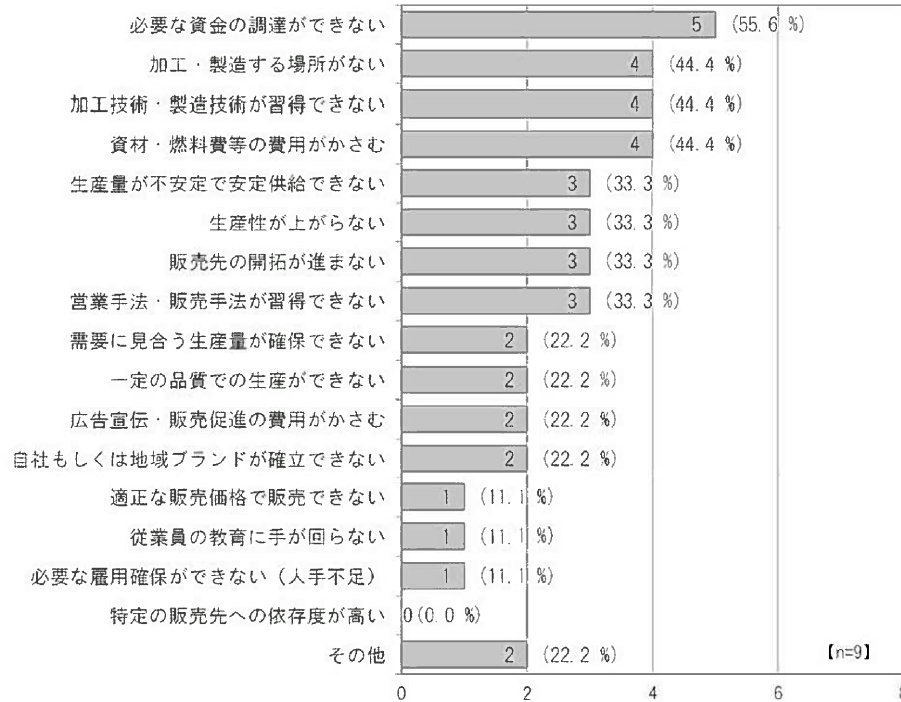
「取り組みたいとは思っているが、現在のところ具体的な予定はない」が77.8%で最も多い。



その他の意見
取り組んでみたものの中断中

問 8-3 取り組みたい意向があるにもかかわらず、これまで六次産業化に踏み込めない理由は何ですか。(複数回答)

「必要な資金の調達ができない」が 55.6%で最も多い。次いで「加工・製造する場所がない(44.4%)」「加工技術・製造技術が習得できない(44.4%)」「資材・燃料費等の費用がかさむ(44.4%)」となっている。



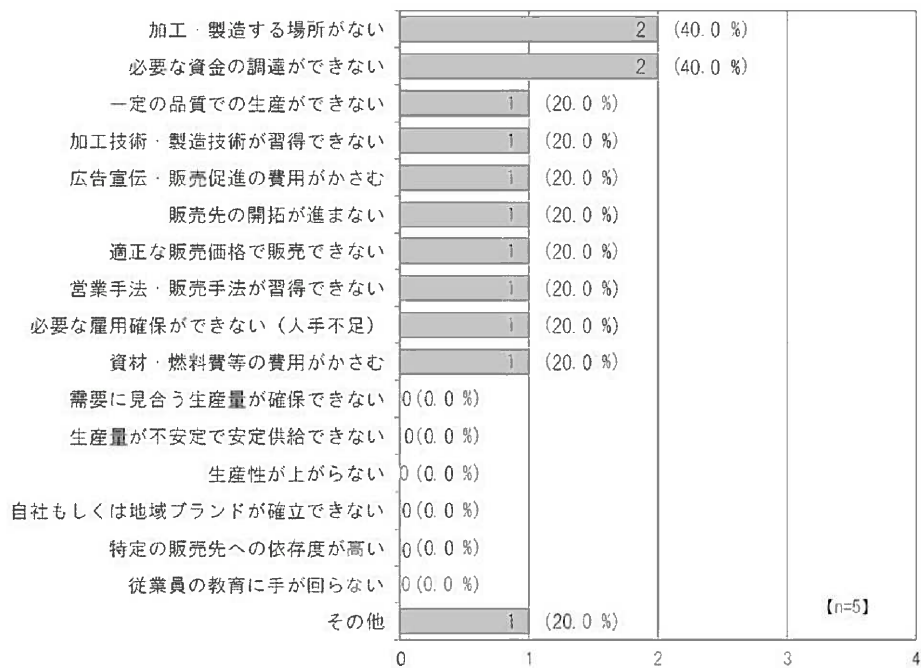
その他の意見

余裕がない
今のところ仕事をしているので、少しずつ知識を増やしたいところなので、今すぐどうこうではない

※問6で「3. 取り組む予定はない」を選択された方にお聞きします。

問9 あなたが六次産業化に取り組まない理由は何ですか。(複数回答)

「加工・製造する場所がない」「必要な資金の調達ができない」が40.0%で最も多い。



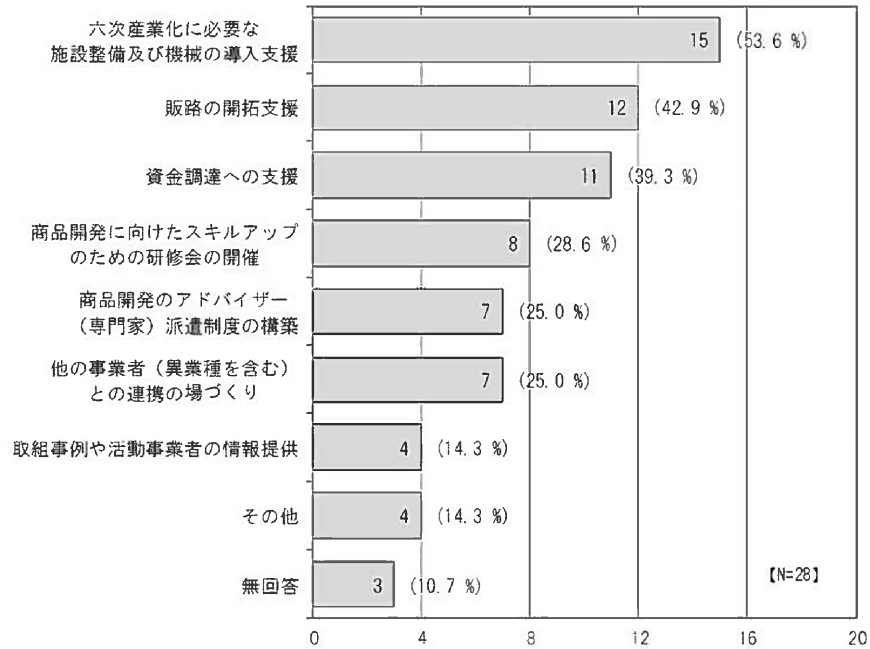
【n=5】

その他の意見

何ができるか見えてこない

問10 農林漁業者が六次産業化に取り組む上で必要な支援は何だと思いますか。(複数回答)

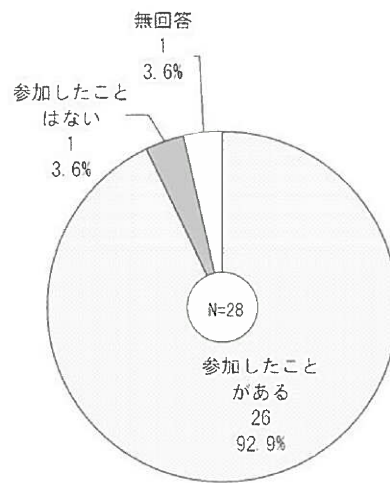
「六次産業化に必要な施設整備及び機械の導入支援」が53.6%で最も多い。次いで「販路の開拓支援(42.9%)」「資金調達への支援(39.3%)」となっている。



その他の意見
作業時間
原発風評被害対策

問 11 市主催の六次産業化の講習会に参加したことがありますか。

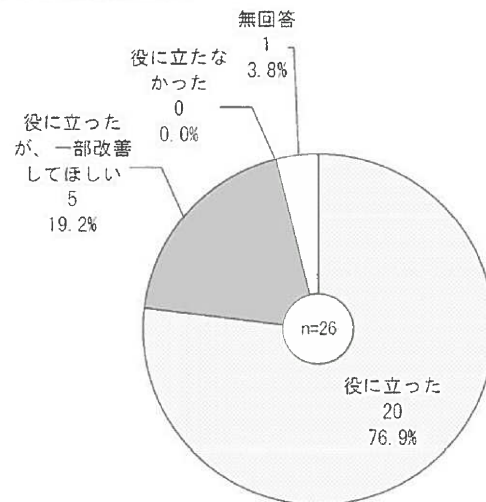
「参加したことがある」が92.9%で最も多い。



※問 11 で「1」を選択された方にお聞きします。

問 12-1 六次産業化の講習会に参加して、どのようにお感じになりましたか。

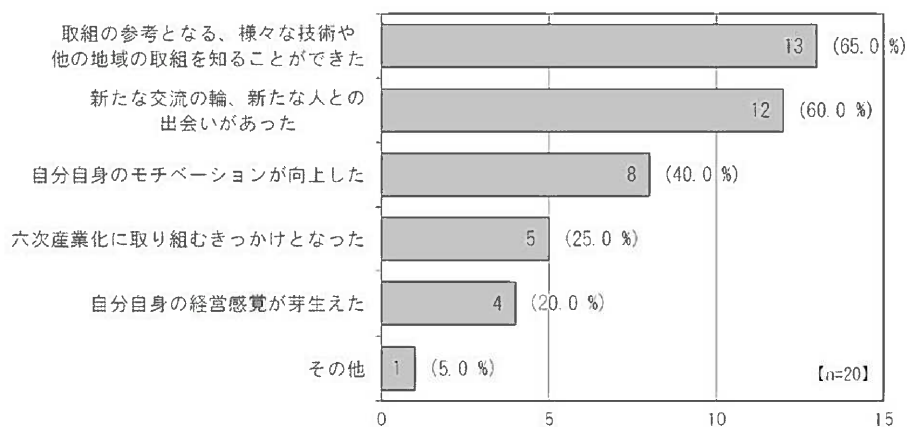
「役に立った」が76.9%で最も多い。



※問 12-1 で「1. 役に立った」と回答した方にお聞きします。

問 12-2 どのような点が役に立ちましたか。(複数回答)

「取組の参考となる、様々な技術や他の地域の取組を知ることができた」が 65.0%で最も多い。次いで「新たな交流の輪、新たな人との出会いがあった (60.0%)」となっている。



その他の意見
知識が増えた

※問 12-1 で「2. 役に立ったが、一部改善してほしい」と回答した方にお聞きします。

問 12-3 どのような点を改善してほしいと感じましたか。

改善点
せっかく開催していただいたが、全部を聞く事(出席)ができず、一度お会いしてもその場限りになってしまった。モチベーションや経営感覚にしても継続して参加し、意欲の向上につなげることが必要と思った。
都会で頭だけのノウハウ・理論を話すだけの講師を招くのはよして欲しい。
六次産業は何かということは理解できましたが、受けられる支援の詳細についての中身とどこまでのラインであれば支援が受けられるのか。書類の書き方。
商品化するにはいろんなことがあるにもかかわらず、分からないことに十分な回答が得られなかった。
多種多様な事例を示して欲しい。法人化のメリットが見えてこない。

※問 12-1 で「3. 役に立たなかった」と回答した方にお聞きします。

問 12-4 役に立たなかったと感じた理由は何ですか。

該当なし

問 13 その他、薩摩川内市の農林漁業が目指すべき姿や六次産業化のあり方について、ご意見・ご提案がございましたら、ご自由にお書きください。

自由意見
全てに対し、積極的にスピーディな行動で行って欲しいと思います。
色々目標はあるのですが、現在余裕がなく、少しずつ進めているところです。曲がり角に当たったらお助け下さい。
①地域ブランド化が遅れている。 ②廃棄物の活用がなされていない。 ③格付け適応…生物に優・良・可・不可があるわけない。全て活用する、できる。 ④販路先のモデルをいくつか作り、拡大を図る(例)農産物直売所。 ⑤観光とのコラボを計らねば農林漁業は間違いなく衰退する。
個人での六次産業の安定的な取組は難しいと感じました。それぞれの特性等を活かし、法人またはプロジェクトとしての分業で商品開発→販売(マーケティング含む)の方向に進めた方が良いのかもしれない。
過去2年間に色々参加させて頂きました。今すぐどうこうではないのですが、先々何かをしたい、立ち上げたいと漫然と考えていたのですが、参加させて頂いたことで少し何かが見えてきたような気がします。本年度も時間があるなら、参加させて頂きたいと思っています。
六次産業に限らず、何でも生産したり加工製造したら販売しないとなりません。生産や加工、製造はできたとしても、販売は全く異なるスキルや感覚が必要な気がします。紆余曲折して製品化した商品を次は又、試行錯誤しながら販売するのは大変な労力と資金が要ります。下手すれば全て処分しなければなりません。そこで薩摩川内市というブランドで①物産館での直接販売。又はネット通販に「地産コーナー」を設け、出品できるようにする。又は②ふるさと納税のお礼品に加えていただく(当然、それなりの商品検査・出品規定や基準は必要)。あるいは、③薩摩川内農産物ナビ(仮称)というサイトをオープンし、サイト内に展示するのは当然のこと。市内外に住んでいる当市出身者等をメルマガ会員化し、毎月、新商品情報を掲載(新米できました。新玉ねぎ。新○○。○○加工品等々)発行、送信する等々、物の出口に力を入れていただければ、六次産業化への積極的な取組に拍車がかかると思います。
六次産業の生産物、加工等のシステムは、漁業から学ぶことが大切ではないかと思う。
農福連携の取組は、どうなっているのでしょうか。福祉のA型、B型事業所は草払い等が多いですか。加工施設ができれば、薩摩川内市の農産物の発展につながるのでは。薩摩川内市のラッキョウ加工・さといも加工・かぼちやの加工・ハーブ等、葉草の利用。一度コンクール(加工品の)等をされてみて、参考に進められる事も。大きな加工センターがあると助かるのでは。資金のない小規模農家の方が販売できる加工センターがあると、自分で設備を作らなくても、あるノウハウが活用できればと思うのですが、いかがでしょうか。
桜を育て、都市部への販売チャンスはかなりあるようです。遊休地を利用して生産を拡大したら良いと思います。不用な葉は泉香に加工でき、良い香りがすると評判です。